

## Report of Electrical and Electronics Engineering Experiment

Exp. No. 491 「フリップフロップとその応用」

2005 年度 No. E4\_\_ \_\_ Group\_\_\_\_ Name\_\_\_\_\_

Partners\_\_\_\_\_

実験日 Date . . ( )

Numazu College of Technology

Department of Electrical and electronics Engineering

提出日	チェック項目
1 . .	<b>I:必須(受取るかどうかのチェック)</b> <input type="checkbox"/> 目的を書いてある
2 . .	<input type="checkbox"/> 課題 1: 図 5 (RS-F/F のタイミングチャート) を完成できた <input type="checkbox"/> 課題 2a: 実験 4a(タイミングの確認)ができた
3 . .	<input type="checkbox"/> 課題 2b: 実験 4b(コントロールゲート無し回路)の実験結果を正しく予測できた <input type="checkbox"/> 課題 2c: 実験 4c(コントロールゲート付き回路)の動作を正しく予測できた
4 . .	<input type="checkbox"/> 課題 2cb: 上記 2 つの実験を正しく実施した
5 . .	<input type="checkbox"/> 図 11(b) (T-F/F の実現例-1 ) を説明できる。 方法 1: <input type="checkbox"/> 学生独自、 方法 2: <input type="checkbox"/> 図 11(c)を作る、 <input type="checkbox"/> 図 11(c)から説明する
6 . .	★逆項目: これら項目は II.以降の加点を無効にする <input type="checkbox"/> ★期限に大幅に遅れた
7 . .	<input type="checkbox"/> ★レポートの体裁が整っていない <input type="checkbox"/> ★実験結果に敬意を払っていない (=自分で勝手に数字を変えた等) <input type="checkbox"/> ★論じ方が科学的でない (=根拠の無い論じ方をする)
	<b>II.必須(以下の項目にも必ずトライすること。平均点がつくかどうかのチェック)</b> <input type="checkbox"/> 図 13 (T-F/F の実現例-2 ) を説明できる。 方法 1: <input type="checkbox"/> 学生独自、 方法 2: <input type="checkbox"/> 表を作り、 <input type="checkbox"/> 表を使って説明する
	<input type="checkbox"/> 図 12 は、T 型 F/F として不適切であると説明できる。 <input type="checkbox"/> JK-F/F を使って T 型、D 型を実現できる。 ★逆項目: これらの項目は II.以降の加点を無効にする
	<input type="checkbox"/> ★期限を守らない <input type="checkbox"/> ★議論の中に抜けた点がある
	<b>III.加点ぶん</b> <input type="checkbox"/> 理論について、自分なりに勉強してまとめた <input type="checkbox"/> 論じ方に独創性がある
	<input type="checkbox"/> 課題 4: 図 14(b)の JK-F/F を解析し、図 14(a)の真理値表が実現されることを説明できる。 <input type="checkbox"/> 課題 7: D-F/F を使って T-F/F を実現する回路と、T-F/F を使って D-F/F を実現する回路をそれぞれ設計できる
	<input type="checkbox"/> 課題 5,6: 同期式と非同期式回路の特徴とを把握している

毎週提出。夏休みは 1 度以上提出 (夏休みは FAX やメールの添付ファイルでも可能)